# 講座の概要
# (AIキャリアアップコース)

※旧ITエンジニアコース

## ◎講座の実施

・IT利活用コース、AIキャリアアップコースの2コースを開発した。

### (2) AIキャリアアップコース

【全体テーマ】:初心者歓迎！AIキャリアアップコース

【企画概要】:生成AI（ChatGPT, Claude, Gemini等）の基礎知識から、業務効率化を目的とした活用プロセス、および実務に必要なスキルを体系的に学ぶ教育プログラム。文部科学省委託事業として、最新技能のアップデートを通じた生産性向上とDX推進人材の育成を目的とする。急速なAI技術の広がりを受け、期中にターゲットの再設定やカリキュラム調整を柔軟に実施し、実務家講師が現場の生産性向上に直結する技を伝える。

【対象者】
AI初心者。個人事業主、フリーランス、一般企業勤務（業務効率化担当、副業・独立検討者）など。

【開催時期】:令和7年10月1日～12月24日（募集期間:8月～9月）
【科目数】:全9科目（6つの科目群、全13回の講義で構成）
【授業形式と時間】:計19.5時間
全てオンライン（Zoomによるリアルタイム形式）で実施。1.5時間（90分）×13回。
【受講証明書発行者数】:43名
【受講者数】:計85名 (有料参加29名/その他招待)
【料金】: 49,800円（税込）

【構成】:①生成AIの基礎:活用の目的、主要ツールの仕組みとプロンプト技術 ②生成AIの活用:議事録効率化、社内マニュアル作成、NotebookLMによる教育資料作成 ③事業企画とプレゼン:市場調査や分析・スライド生成等。④生成AI×AIライティング技術:SEO分析、キーワードリサーチ、AI生成記事の編集技術 ⑤生成AI×マーケティング:事業企画案、競合調査、SNS投稿・画像生成の実践 ⑥生成AI×事務処理の自動化:スプレッドシート連携、自動化ツールによる業務システム構築

【実施結果】:実務への即効性を重視したアウトプット型カリキュラムとして遂行され、総合満足度は約87%に達した。受講前は「少し触った程度」が約7割であったが、受講後は95.7%が「AIを活用するスキル・自信が向上した」と回答した。生産性向上の面では、受講生の約25.5%が月間10時間以上の業務削減を見込んでおり、年間120時間の工数削減（約15営業日分）に相当する高い投資対効果（ROI）を創出した。また、受講を機に社内でAIプロジェクトが立ち上がり、担当者に抜擢されるなどの具体的なキャリアアップ事例も報告されている。一方で、受講生間のリテラシー差により「進行が早い」との指摘があった。今後は、難易度別のクラス分離、職種別のユースケース提示の強化など、よりパーソナライズされた指導の充実が課題として挙げられた。

## ◎講座の実施

### (2) AI キャリアアップコース（スケジュール）

■AIキャリアアップコース　カリキュラム

| 科目群 | 科目名 | 講座内容 | 時間 |
|---|---|---|---|
| 1) 生成AIの基礎 | 生成AI活用の目的と基礎 | ・主要3大AI（ChatGPT, Gemini, Claude）の比較と使い分け<br>・プロンプト作成テクニック（役割・背景・制約条件の明示）<br>・ChatGPTキャンバスモード、GeminiのGoogle連携実演<br>・Perplexityと連携させた事業企画作成の実践例 | 1.5 |
| 2) 生成AIの活用 | 社内マニュアルの作成 | ・既存の社内ルール・規約のAIマニュアル化手法<br>・Feloによるテキスト情報からのスライド形式マニュアル作成<br>・NotebookLMを活用した複数資料の一元管理と情報統合 | 1.5 |
| | 議事録作成の効率化 | ・AI文字起こしツール（Notta, TLDV, Zoom AI等）の比較<br>・合意事項、ネクストアクションを抽出するプロンプト設計<br>・文字起こしデータの営業教育、新人教育への転用手法 | 1.5 |
| | 社内ノウハウの集約 | ・GPTsの基本構造（役割、ルール、知識、指示）の習得<br>・社内質問対応・文章作成・業務特化型ボットの構築<br>・実例：パワハラ防止言い換えボット等の実用的GPTs作成 | 1.5 |
| 3) 事業企画と プレゼン | 事業企画の作り方 | ・Perplexityによる出典付き市場調査・競合調査手法<br>・ChatGPTでの整理・分析と事業企画案の立案<br>・Gammaを活用したテキストからのスライド自動生成 | 1.5 |
| 4) 生成AI × ライティング | AIライティング技術 | **【前半：基礎・構成】**<br>・SEO記事作成のフロー（リサーチ、構成案、執筆）<br>・Perplexityによるキーワード分析とキャンバスモード活用<br>**【後半：自動化・推敲】**<br>・記事作成専用GPTsの構築によるワークフロー自動化<br>・Claudeを活用した人間らしい文章へのブラッシュアップ<br>・SEO強化のための見出し最適化と検索意図の反映 | 3 |
| 5) 生成AI × マーケティング | AI活用マーケティングと クライアント獲得戦略 | **【前半：戦略・投稿文】**<br>・Instagramアルゴリズム理解と3C分析の応用<br>・DeepResearchを使った市場トレンド・ターゲット分析<br>・ChatGPT/Claudeによるターゲットに響く投稿文作成<br>**【後半：ビジュアル・分析】**<br>・専用GPTsによるキャッチコピーの自動生成<br>・Imagen 3（思考モード）とCanvaを組み合わせた画像生成<br>・AIによるインサイトデータの自動分析と改善案抽出 | 3 |
| 6) 生成AI × 事務自動化 | 自動化システムの作り方 | **【前半：一方向連携】**<br>・GPTsとスプレッドシートのAPI連携（GAS/スキーマ設定）<br>・レシート画像の自動読み取りと経費データ入力システム構築<br>**【後半：双方向連携】**<br>・在庫管理ボット等の双方向データ参照・更新システム実装<br>・AIによるシステム開発のための「要件定義」自動生成 | 3 |
| | Gmail自動返信 システムの作成 | **【前半：ワークフロー構築】**<br>・自動化プラットフォーム「n8n」の基本操作と連携設定<br>・受信をトリガーとした返信文の自動下書き作成保存<br>**【後半：高度な応用】**<br>・条件分岐によるメール内容ごとの自動振り分け処理<br>・添付ファイルの自動保存と社内マニュアル参照返信の自動化 | 3 |
| 合計 | | | 19.5 |

## ◎講座の実施

### (2) AI キャリアアップコース（講師一覧）

**メイン講師：村上 大輔（株式会社ぱるぷんて）**

トヨタ自動車に10年以上勤務し、生産技術エンジニアやコネクティッド関係の事業企画を担当。トヨタ時代には、工場建設やインフラ構築のためにインドやロシアに赴任した経験や、出張ベースで10カ国以上の国で仕事をしてきた経験を持つ。現在は、株式会社ぱるぷんてを立ち上げ、AI事業とWebマーケティングを専門とした事業を営んでいる。



**講師：河原田 茉莉（UNFRAME）**

大手化粧品メーカーで約10年、商品企画・ブランド開発に従事。独立後は化粧品・美容領域に特化し、新規ブランドや新商品の支援を行う。AIを活用した「コンセプト設計〜世界観構築」を強みに、AI×ブランディング講座を主宰。セミナー累計参加者300名超の実績を持つ。



**講師：大内 結貴（株式会社ミライブースト）**

京都大学大学院修了。診断薬開発から教材制作、マーケティングまで多様な業界を経験し、論文執筆実績も持つ。豊富な企業研修実績を持つAI活用講師として、様々な業界・職種に対するカスタマイズ研修を提供する。Webライターとして実務経験を積み、AIを活用した効率的なライティング手法を確立している。



# 講座の実施・教材
# (AIキャリアアップコース)

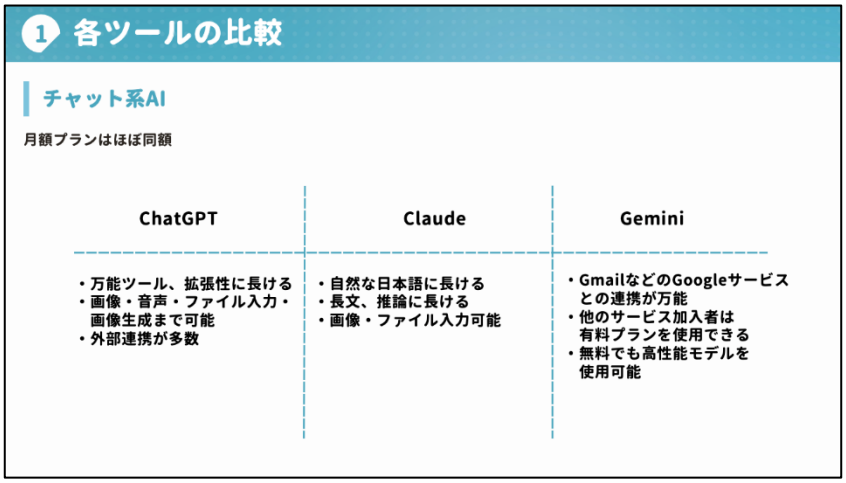
**【第1回】講師：村上 大輔**

受講者数：83名
形式：リアルタイム配信・アーカイブ配信
日時：2025年10月1日(水) 20:00～21:30

【科目名】
生成AI活用の目的と基礎

【概要】
主要な3大AIツール、ChatGPT、Claude、Geminiの特徴を比較し、日本語対応やGoogle連携などを把握する。最適なツールを使い分けることで、高品質なアウトプットを生み出せるため、プロンプト作成では、AIに役割、コンテキスト、制約条件を明確に伝える方法を学ぶ。ChatGPTでは、カスタム指示、メモリ機能の活用法を解説し、出力文章の読解レベルや長さを調整するキャンバスモード、定期情報収集のスケジュール機能も実演。Geminiでは、インフォグラフィックでレポートを作成できる強みを活かし、生成コードをGoogleサイトに埋め込んで資料をウェブサイトとして公開・共有する効率的な方法を実演する。複数のAIツールを組み合わせた活用戦略を紹介し、市場調査用のPerplexityを活用し、ChatGPTに連携させて事業企画を作成する実践例を通して、ツール連携による業務効率向上を目指す。



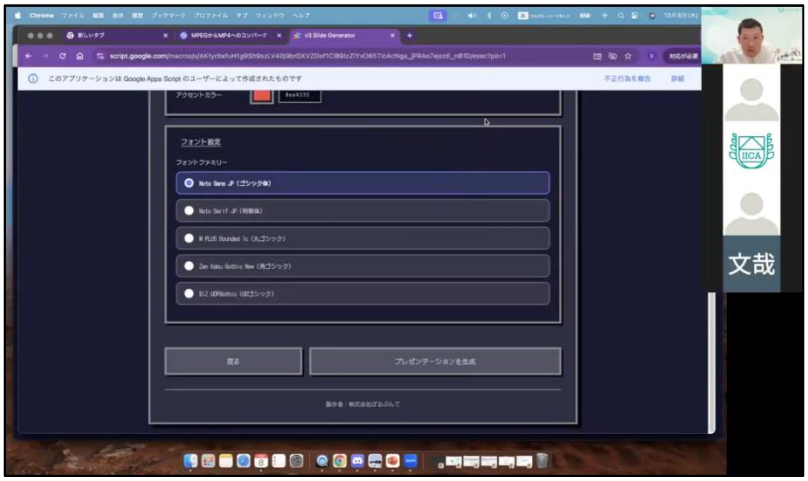



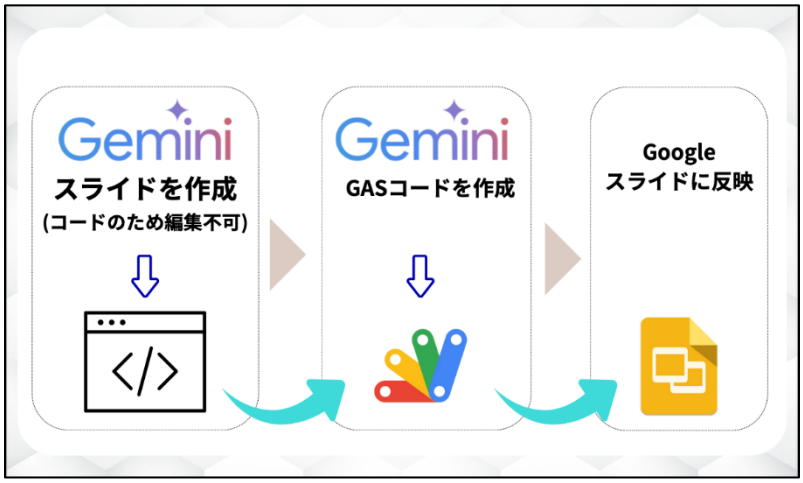
**【第2回】講師：村上 大輔**

受講者数：77名
形式：リアルタイム配信・アーカイブ配信
日時：2025年10月8日(水) 20:00～21:30

【科目名】
社内マニュアルの作成

【概要】
既存ルールのマニュアル化と新規マニュアル作成の2種類のアプローチを解説する。Feloの検索機能とAIスライド作成機能を活用し、テキスト情報を視覚的に分かりやすいスライド形式に変換する方法を実践する。プロンプトの構成として、シンプルな指示でも効果的なアウトプットを得るコツを紹介する。NotebookLMを使った情報の統合・整理手法を学び、複数の資料を一元管理する方法を習得する。AIは知恵の勝負であり、1つのスキルを様々な業務に応用する視点が重要であることを強調し、自社のサービス説明や商品説明、社内規定など、様々な場面への応用方法を考える。



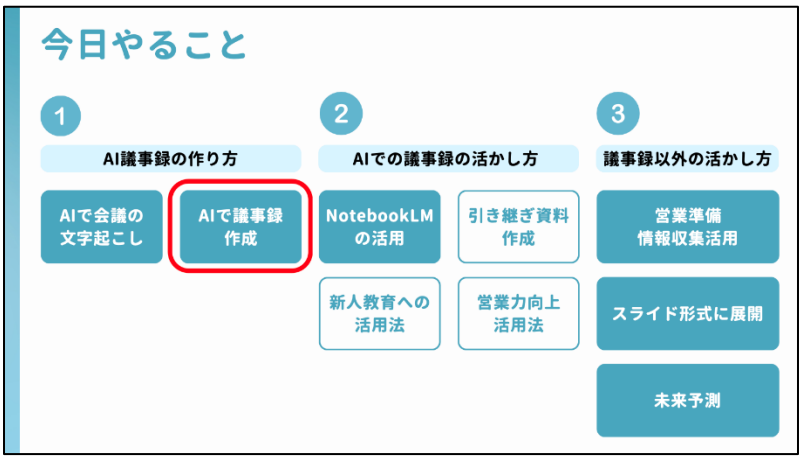
**【第3回】講師：河原田 茉莉**

受講者数：70名
形式：リアルタイム配信・アーカイブ配信
日時：2025年10月15日(水) 20:00～21:30

【科目名】
議事録作成の効率化

【概要】
AI議事録ツールとしてNotta、TLDV、Zoom AIコンパニオンの3種類を比較し、日本語対応、オフライン対応、コスト面などの観点から特徴を解説する。Nottaはフィラー除去や単語登録機能に優れ、TLDVは時間制限なしで多言語対応に強い点を紹介する。議事録作成プロンプトでは、役割・目的・出力形式の3要素を意識した設計方法を学ぶ。合意事項と未合意事項の明確化、次のアクションの抽出など、実務で役立つ出力フォーマットを実践する。さらに、営業スクリプトの比較分析による営業力向上、引き継ぎ資料の自動生成、新人教育への活用など、議事録データの発展的な活用方法を紹介する。



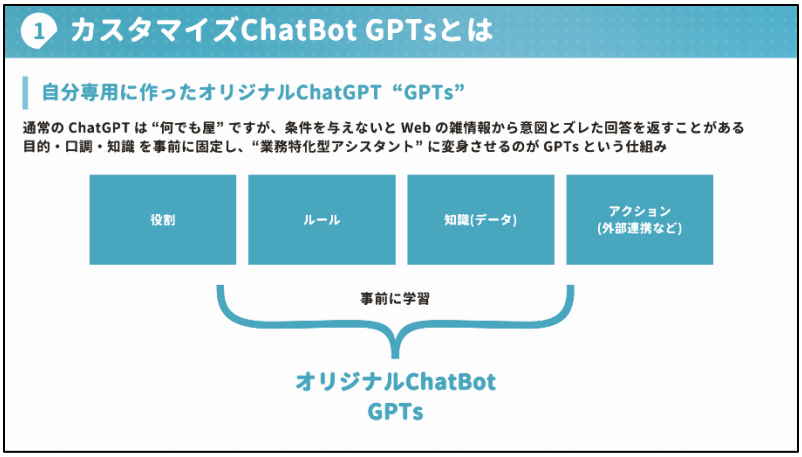
**【第4回】講師：河原田 茉莉**

受講者数：82名
形式：リアルタイム配信・アーカイブ配信
日時：2025年10月22日(水) 20:00～21:30

【科目名】
社内ノウハウの集約 (GPTs作成)

【概要】
GPTsの概念を解説し、ChatGPTがスマートフォンならGPTsはアプリであるという位置づけを理解する。GPTsで実現できることとして、質問対応チャットボット、文章作成ボット、業務特化型アシスタントなどの事例を紹介。GPTs作成の3ステップとして、操作方法の習得、プロンプトのカスタマイズ、オリジナルGPTsの構築を順に実践する。指示文の設計では、役割の付与、ルールの設定、知識データの読み込み、具体的な指示出しの方法を学ぶ。実践演習として、パワハラ防止のための言い換えボットなど、実用的なGPTsを作成する。GPTsのマネタイズ事例も紹介し、スキルを収益化する可能性を示す。



**【第5回】講師：村上 大輔**

受講者数：63名
形式：リアルタイム配信・アーカイブ配信
日時：2025年10月29日(水) 20:00～21:30

【科目名】
事業企画の作り方

【概要】
Perplexityの特徴として、参照元リンク付きで情報を提供する点を解説し、信頼性の高い市場調査手法を学ぶ。中小企業のDX導入率など具体的なテーマで情報収集を実践する。収集した情報をChatGPTに連携させ、事業企画を立案するワークフローを構築する。Gammaを使ったスライド自動生成では、Googleドキュメントとの連携機能を活用し、テキスト情報から見栄えの良いプレゼン資料を作成する方法を実演する。ケーススタディとして実在企業を題材に、競合調査から事業企画提案までの一連の流れを体験する。ツール連携による業務効率化の可能性を実感する。





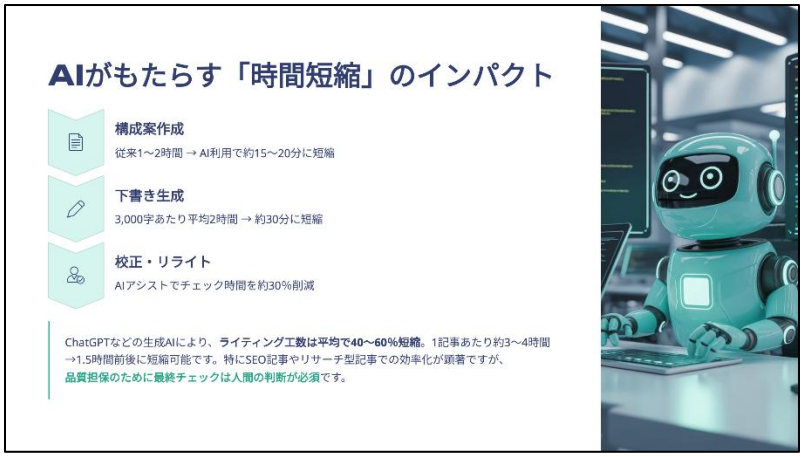

**【第6回】講師：大内 結貴**

受講者数：71名
形式：リアルタイム配信・アーカイブ配信
日時：2025年11月5日(水) 20:00～21:30

【科目名】
AIライティング技術①

【概要】
Webライティング市場の現状と、AI活用によるコンテンツ制作の効率化について解説する。記事構成の基本として、導入部・本文・結論の適切な配分と、各パートの役割を学ぶ。H2・H3見出しによる情報の階層化、読者の課題認識から解決策提示までの流れを理解する。CTAボタンの効果的な配置位置についても触れる。Perplexityを使ったキーワードリサーチと情報収集の実践を行い、収集した情報をChatGPTに連携させて記事の下書きを作成する。キャンバスモードを活用し、読解レベルの調整（幼稚園児～大学院レベル）や文章の長さ調整を実演する。



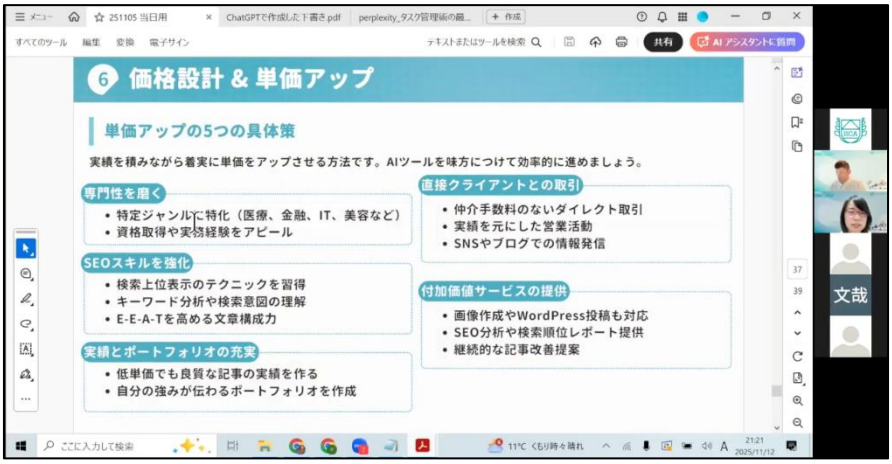
**【第7回】講師：大内 結貴**

受講者数：63名
形式：リアルタイム配信・アーカイブ配信
日時：2025年11月12日(水) 20:00～21:30

【科目名】
AIライティング技術②

【概要】
前回作成した下書きをもとに、記事作成を一発で行えるGPTsの構築手順を解説する。GPTsの構成画面での設定方法、指示文の貼り付け、推奨モデルの選択、機能の有効化について実践する。Claudeを使った文章のブラッシュアップでは、日本語生成に優れたClaudeの特性を活かし、AI生成文章をより自然で読みやすい文章に仕上げる方法を学ぶ。SEO強化のポイントとして、見出しの最適化、キーワードの適切な配置、読者の検索意図への対応について解説する。ライティングの単価相場や、専門性を高めることによる収益向上の可能性についても触れる。



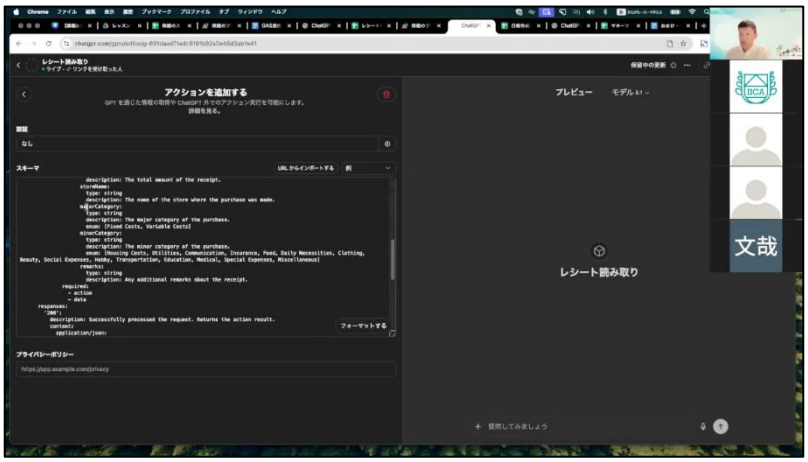



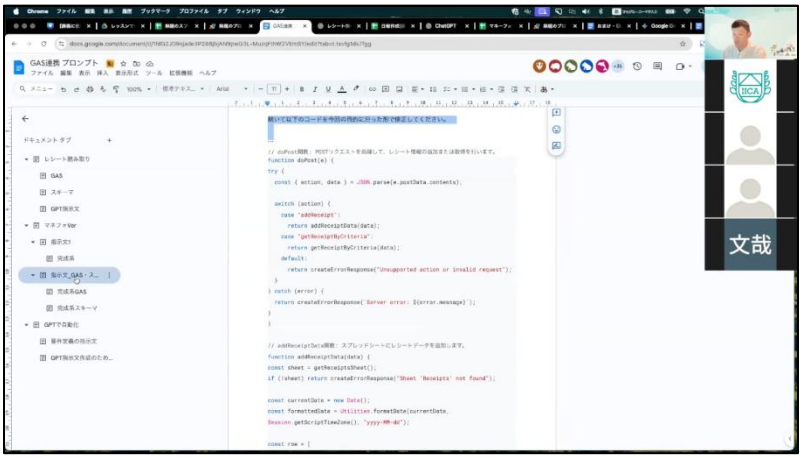
**【第8回】講師：村上 大輔**

受講者数：58名
形式：リアルタイム配信・アーカイブ配信
日時：2025年11月19日(水) 20:00～21:30

【科目名】
自動化システムの作り方①

【概要】
システム連携のメリットとして、繰り返し作業の自動化、情報の自動整理、品質の均一化を解説する。GPTsからスプレッドシートへの一方向連携の仕組みを図解で説明する。レシート自動読み取りシステムの構築を実践し、GPTsの設定、スキーマの作成、GASコードの実装を順に行う。タクシー領収書などの実際のレシート画像を使って動作確認を行い、読み取り精度の向上方法を学ぶ。経費精算データの自動処理など、応用事例も紹介する。履歴書、アンケートなど、様々なデータの自動処理への応用可能性を示す。



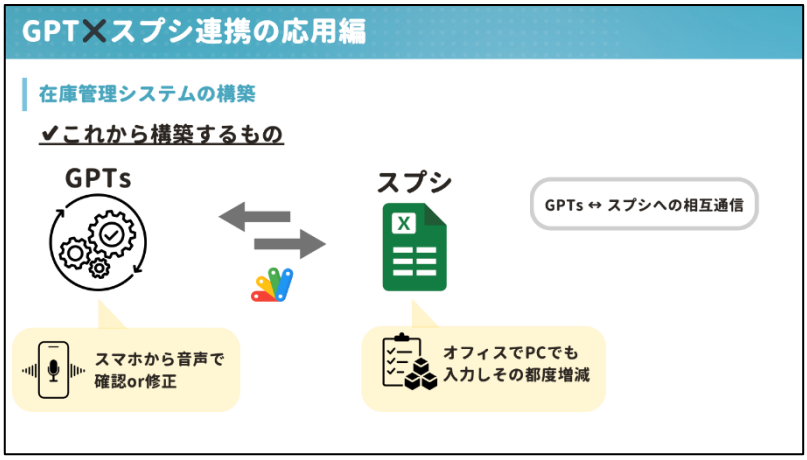



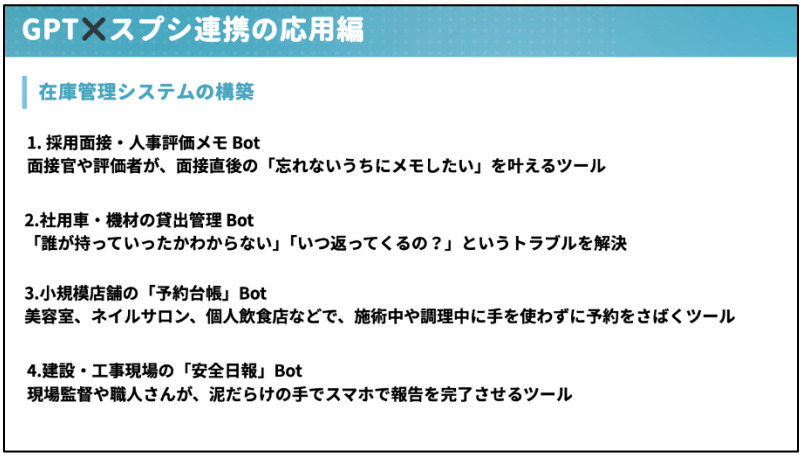
**【第9回】講師：村上 大輔**

受講者数：55名
形式：リアルタイム配信・アーカイブ配信
日時：2025年11月26日(水) 20:00～21:30

【科目名】
自動化システムの作り方②

【概要】
前回の一方向連携と双方向連携の違いを解説し、相互連携によって実現できることを具体例で示す。要件定義の重要性について、「足して2になる数字」の例を使って、曖昧な指示がAIの出力を不安定にすることを説明する。要件定義を自動生成するGPTsの作成手順を実践し、スプレッドシート連携に特化した指示文を構築する。在庫管理ボットの構築では、在庫数の確認、在庫数の更新、最終更新日時の自動記録などの機能を実装する。複数ユーザーからの更新にも対応するリアルタイム連携の仕組みを理解する。



**【第10回】講師：河原田 茉莉**

受講者数：49名
形式：リアルタイム配信・アーカイブ配信
日時：2025年12月3日(水) 20:00～21:30

【科目名】
AI活用マーケティングとクライアント獲得戦略①

【概要】
Instagramの現在の位置づけとして、「同じ価値観の人と繋がる場所」というビジョンを解説し、アルゴリズムの基本的な考え方を理解する。SNSマーケティングの全体フローとして、市場調査、競合分析、アカウント設計、テーマ選び、文章作成、デザイン、投稿、分析、改善のサイクルを示す。DeepResearchを使った市場トレンドの調査を実践し、ターゲット層の心理・行動分析を行う。3C分析をInstagramに応用し、コンセプト、ターゲット、コンテンツの3要素を明確化する。ChatGPTを使った投稿文の作成では、ユーザーの検索意図に応じた構成と表現を学ぶ。



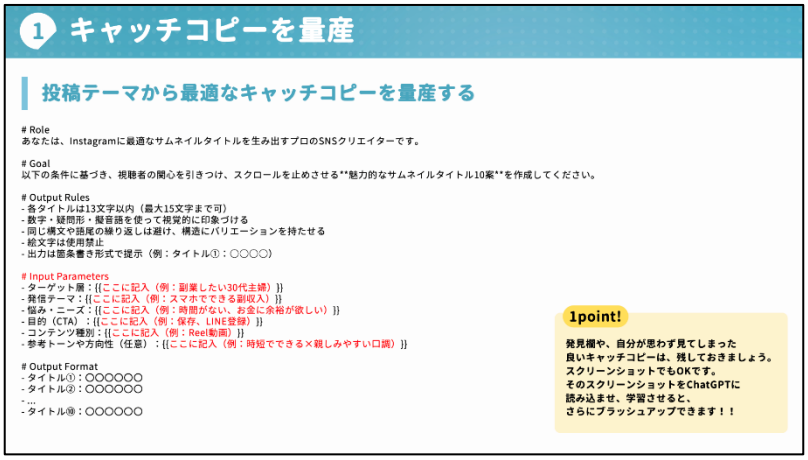


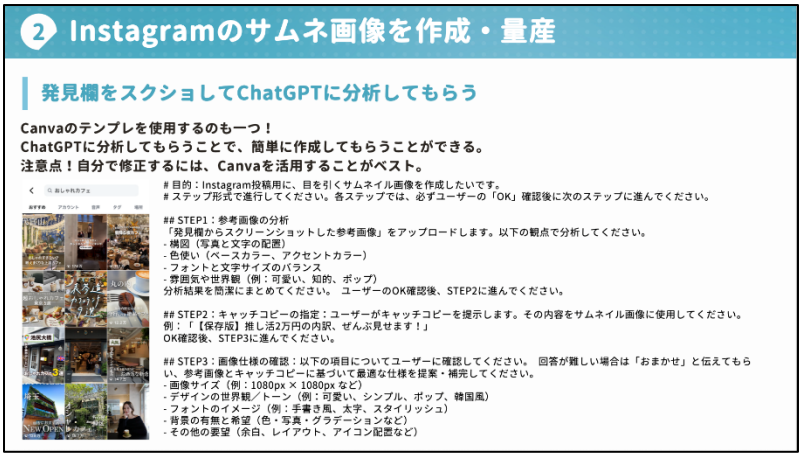

## 【第11回】講師：河原田 茉莉

受講者数：50名
形式：リアルタイム配信・アーカイブ配信
日時：2025年12月10日(水) 20:00～21:30

【科目名】
AI活用マーケティングとクライアント獲得戦略②

【概要】
キャッチコピー生成では、リサーチ結果をもとにターゲット心理を分析し、専用GPTsを活用したタイトル案の自動生成を実践する。画像作成では、Imagen 3の思考モードを活用した高精度な文字入り画像生成と、Canvaでのテンプレート活用やトレース技術を習得し、統一感のあるデザインを効率的に制作する方法を学ぶ。競合分析として、発見欄の投稿をChatGPTで分析し、構図・色使い・フォントの傾向を把握してテンプレートに反映させる手法を理解する。インサイト分析では、投稿データをAIに読み込ませるだけで課題抽出と改善提案を得られる自動分析の仕組みを構築し、PDCAサイクルを効率化する。



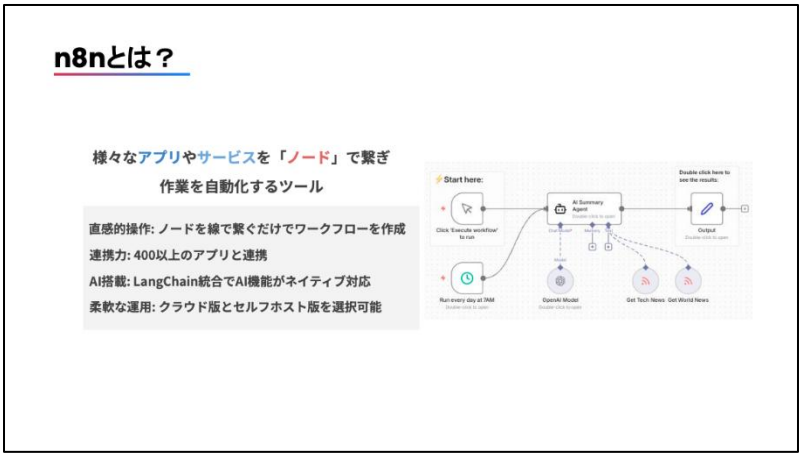
**【第12回】講師：村上 大輔**

受講者数：45名
形式：リアルタイム配信・アーカイブ配信
日時：2025年12月17日(水) 20:00～21:30

【科目名】
自動化ツールによるGmail自動返信システムの作成①

【概要】
n8nの特徴として、セルフホストによる機密情報の保護、高度な処理への対応力などを理解する。基本的なワークフロー構築では、Gmailの受信をトリガーとし、AIエージェントがメール内容を読み取ってChatGPTに指示を送り、生成された返信文を自動で下書き保存する一連の流れを実装する。ChatGPT APIの連携設定を行い、自社の営業時間や会社情報などを正確に反映させる方法を学ぶことで、信頼性の高い自動返信システムを実現する。エラー発生時の対処法や、ハルシネーションを防ぐ工夫や、AIアシスタント機能を活用したトラブルシューティングの基本も習得する。



**【第13回】講師：村上 大輔**

受講者数：57名
形式：リアルタイム配信・アーカイブ配信
日時：2025年12月24日(水) 20:00～21:30

【科目名】
自動化ツールによるGmail自動返信システムの作成②

【概要】
条件分岐の実装では、メール内容や送信者によって異なる対応を自動で振り分ける仕組みを構築し、業務効率化とミスの削減を実現する。添付ファイルの自動保存機能を使い、重要な書類を即座にクラウド上に整理・保管する流れを学ぶ。社内マニュアルをAIエージェントに読み込ませることで、誰でも同じ品質の対応ができる仕組みを構築し、メール以外のツールとの連携では、通知機能や自動レポート作成など、より広範な業務自動化の可能性を探る。実務への応用例として、ECサイト運営、広告運用、社内ナレッジ管理など、様々な業種・職種で活用できる、24時間稼働の専用自動化システムの完成を目指す。

